

## ■TCK 女王盃 (JpnIII) アラカルト (過去全 21 回の分析)

---

※第 1 回 (平成 10 年) から第 6 回 (平成 15 年) までは大井ダ 2,000m で実施

※第 7 回 (平成 16 年) からは大井ダ 1,800m で実施

※記録は平成 30 年 12 月 31 日時点

### ■ 1 番人気に推された馬は堅実

単勝 1 番人気馬は 8 勝、2 着 7 回、3 着 3 回で、3 着内率が 85.7%、単勝 2 番人気馬は 8 勝、2 着 3 回、3 着 1 回で、3 着内率が 57.1%、単勝 3 番人気馬は 2 勝、2 着 2 回、3 着 4 回で、3 着内率が 38.1%となっている。昨年の第 21 回 (平成 30 年) こそ単勝 1 番人気のプリンシアコメータが 6 着に敗れたものの、基本的には単勝 1 番人気馬が強いレースと言えそうだ。

### ■ 半数近い 10 回で 3 番人気以内の馬がワンツー

過去 21 回のうち 18 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。また、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフイニッシュ決着は 10 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 1 回ある。

### ■ 7 歳以上馬は優勝例なし

馬齢別の勝利数を見ると、4 歳が 8 勝、5 歳が 8 勝、6 歳が 5 勝となっていた。7 歳以上馬は第 3 回 (平成 12 年) のマジックリボン (7 歳)、第 18 回 (平成 27 年) のアクティビューティ (8 歳)、第 19 回 (平成 28 年) のパワースポット (8 歳) による 2 着が最高着順だ。

### ■ レマーズガールとメーディアが“連覇”を達成

TCK 女王盃において 2 回以上の優勝経験があるのは、第 7 回 (平成 16 年) と第 8 回 (平成 17 年) を制したレマーズガール、第 16 回 (平成 25 年) と第 17 回 (平成 26 年) を制したメーディアの 2 頭で、いずれも 2 年連続の優勝となっている。

## ■外国産馬は5勝

外国産馬は第5回（平成14年）のレディバロード、第7回（平成16年）ならびに第8回（平成17年）のレマーズガール、第9回（平成18年）のクラブユアハート、第14回（平成23年）のラヴェリータと、4頭が延べ5勝している。

## ■優勝馬ならびに連対馬の7割はJRA所属馬

所属別成績を見ると、地方所属馬は6勝、2着6回、3着11回、JRA所属馬は15勝、2着15回、3着10回となっている。ちなみに、優勝を果たした地方所属馬は第15回（平成24年）のハレサンサンが最後だ。

## ■騎手別の歴代最多勝記録は「2」

騎手別の勝利数を見ると、2勝の今野忠成騎手、武豊騎手、戸崎圭太騎手、濱中俊騎手がトップタイとなっている。

## ■調教師別の歴代最多勝記録も「2」

調教師別の勝利数を見ると、2勝の笹田和秀調教師、湯浅三郎調教師がトップタイとなっている。

## ■1枠と4枠は未勝利

枠番別勝利数を見ると、7枠（7勝）が単独トップ。5枠と6枠（各4勝）が2位タイ、2枠（3勝）が単独4位となっている。なお、1枠と4枠は未勝利だ。また、馬番別勝利数を見ると、8番（3勝）が単独トップ。2番、7番、10番、12番、14番（各2勝）が2位タイとなっている。ちなみに、未勝利の馬番は1番と15番だけである。

<伊吹雅也>